

2021 年 8 月 20 日

The Emerging Markets Weekly

リスクオフムードを受けて続落

新興国市場: 先週末 13 日、アジア時間の新興国通貨は総じて軟調。前日のドル高や域内での COVID-19 の感染拡大が重しとなった。KRW の下げが目立った。欧米時間は新興国通貨が反発。ユーロ高に東欧通貨が連れ高、米 8 月ミシガン大学消費者マインドの大幅悪化を受けた金利低下・ドル売りが拍車をかけた。RUB、TRY や MXN が上昇した。週初 16 日、アジア時間の新興国通貨は小動き。アフガニスタンを巡る地政学リスクへの警戒感のほか、中国の冴えない経済指標等が重しとなった。欧米時間は、米 8 月 NY 連銀製造業景気指数が市場予想を大幅に下回り、米利上げ期待の後退で米株は反発も、新興国通貨の支援材料にはならなかった。ZAR が下落する一方、TRY は上昇した。17 日、アジア時間の新興国通貨は目新しい材料がないなかで、引き続き軟調。休場明けの KRW の下げが目立った。欧米時間には強弱入り混じる米経済指標の内容に米株が下落で反応。リスクオフムードの台頭に、BRL や MXN が値を下げた。18 日、アジア時間の新興国通貨は堅調な株式市場に支えられしつかり。当局からの通貨安けん制発言を手掛かりに、KRW は 7 営業日ぶりに反発した。欧米時間は、FOMC 議事要旨の公表を控え、米金利が上昇しドル高となつて、新興国通貨は下押された。FOMC 議事要旨公表後も、ドルは底堅さを維持し、上値の重い推移となった。BRL はブラジル下院で税制改革の審議が難航していることや、鉄鉱石価格が下落したことが重しとなり、前日比▲1.8%下落した。19 日のアジア時間の新興国通貨は前日の動きが継続していることを受けて総じて軟調。KRW の下落が目立った。欧米時間も続落となり、FRB の年内テーパリング開始の可能性や、中国の景気減速への懸念の高まりが継続した。また、原油価格や鉄鉱石価格が下落したことも新興国通貨の売り材料となった。ZAR は前日比▲1.5%下落、そのほか TRY や MXN も軟調となった。

アジア: 13 日発表のマレーシア 4~6 月期 GDP は前期比▲2.0%とマイナスに転じた。ロックダウン再開が重しとなった。これを踏まえ、マレーシア中央銀行 (BNM) は 2021 年の成長率見通しを従来の+6.0~7.5%から+3.0~4.0%に下方修正した。16 日発表のタイ 4~6 月期 GDP は前期比+0.4%と 1~3 月期 (同+0.2%) から加速、市場予想 (同▲1.1%) を覆した。輸出と政府支出が全体を支えたが、タイ国家経済社会開発評議会 (NESDC) は 2021 年の成長率予測を従来の+1.5~2.5%から+0.7~1.2%に引き下げた。COVID-19 の感染拡大による景気失速が影響した。インドネシア中央銀行 (BI) は 19 日に政策金利を 3.50% に据え置くことを決定した。ペリー総裁は会見で「今回の決定は、低インフレの中で為替レートと金融システムを維持するとともに、経済をコロナ禍による影響から回復させる必要性に沿ったものだ」と述べた。

中東欧・アフリカ: 18 日に発表された南アフリカ 7 月消費者物価指数 (CPI) は前年比+4.6%と 6 月 (同+4.9%) から鈍化した。南アフリカ準備銀行 (SARB、中央銀行) の目標レンジは 3~6% であり、今回の CPI の鈍化を受けて利上げ期待が後退した。

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
堀 亮太
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

市場概観(メキシコ)

Banxico が追加利上げに動く

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

メキシコ中央銀行(Banxico)は 12 日、金融政策決定会合を開催し、政策金利(翌日物金利)を 25bp 引き上げて 4.50%とすることを決定した(図表 1)。利上げは 6 月に続き 2 会合連続となり、多くのエコノミストの予想通りとなった。声明文によれば、決定は前会合に続き、多数決によって行われた。5 名の委員のうち 3 名が利上げを、2 名は据え置きを主張した。それぞれの委員の投票行動についても前回から変わっていない。

Banxico が追加利上げに踏み切った理由は、前会合と同様に、足許でのインフレ圧力が予想以上に長期化しうることへの警戒感だ。実際のところ、7 月の消費者物価指数(CPI)は前年比+5.81%と 6 月(同+5.88%)からやや減速したものの、5 か月連続で Banxico の目標レンジ(前年比+2%~+4%)を上回った。先々のインフレ見通しについても、同行が実施している月次市場サーベイでは、じりじりと上方修正が続いている。

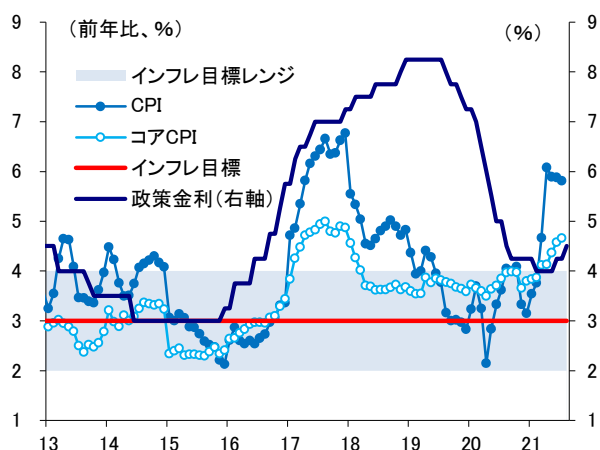
同行は声明文で、インフレ率が同行の目標値(前年比+3%)に落ち着いてくる時期を 2023 年 1~3 月期とした。前回会合時には 2022 年 7~9 月期としていたので、一段と後ずれした格好だ(図表 2)。また、インフレリスクの方向も引き続き上方にあるとの認識を維持している。

そして、声明文では、Banxico は足許の物価上昇を加速させた要因について一時的なものになると考えているものの、その多様性や規模のほか長期化しつつあることも念頭に、価格形成プロセスにリスクをもたらす可能性があるとあらためて警戒感を示した。

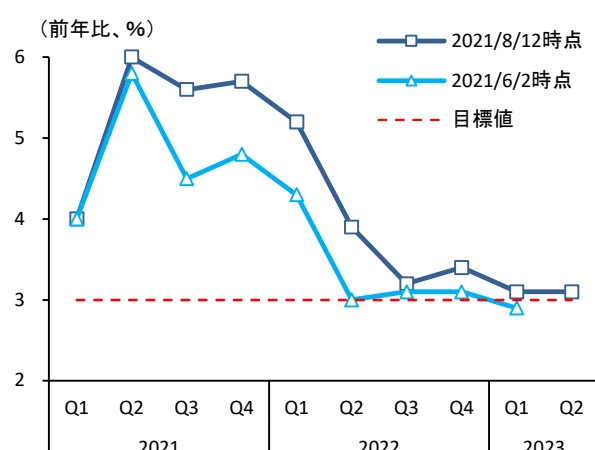
これらを踏まえて、以下の通り、インフレ見通しの上振れを回避し Banxico の目標値に収斂させていくには利上げが必要とまとめている。

it was deemed necessary to strengthen the monetary policy stance in order to avoid adverse effects on inflation expectations and enable an orderly adjustment of relative prices and the convergence of inflation to the 3% target.

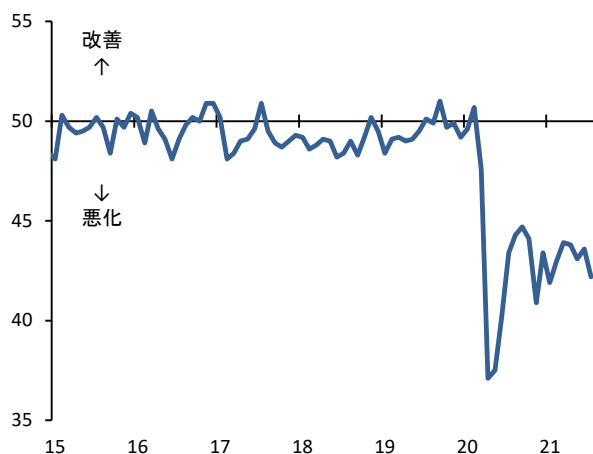
今後の Banxico の政策運営については、追加利上げ含みで考えておきたい。メキシコにおけるインフレ圧力の高まりは資源価格高や輸送面等の供給要因によるものとみられる。実際、同国の製造業 PMI を参考にすると、思うように原材料を調達できていないことや、需要面以上に供給面での価格上昇圧力が強いこと、受注が回復しつつある中でも生産面の回復が遅れ受注残が積みあがりつつあること等が確認できる(図表 3、4、5)。海運市況やコモディティ市況が依然高止まりしていることを考慮すると、こうした供給制約の解消には未だ時間がかかりそうだ。当面は、需要回復ペースを一定程度抑制しながら供給制約の緩和を待ち、インフレ期待の上振れを回避していくことになるのではないかと。

図表 1: 政策金利とインフレ率


出所: メキシコ中央銀行、地理統計院、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: Banxico の CPI 見通し


出所: メキシコ中央銀行、みずほ銀行

図表 3: 製造業 PMI 入荷遅延指数


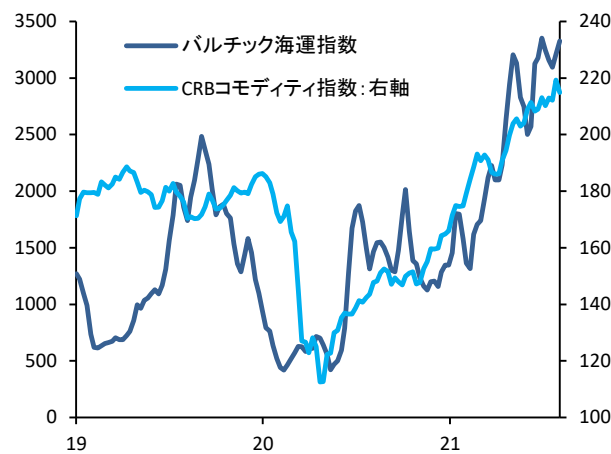
出所: HIS Markit、CEIC、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI 仕入価格指数と販売価格指数


出所: HIS Markit、CEIC、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI 受注残指数と生産指数


出所: HIS Markit、CEIC、みずほ銀行

図表 6: 海運指数とコモディティ価格指数


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

市場概観(マレーシア)

ムヒディン首相が辞任表明～後任は未定で政治不安が表面化

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

現地メディアは 15 日、ムヒディン首相が自らの率いるマレーシア統一プリブミ党 (PPBM) の議員に辞意を伝えたと報じた。辞任の決め手となったのは連立相手の政党 (統一マレー国民組織、UMNO) の所属議員による連立政権離脱が相次ぎ、議会の過半数を維持できなくなったこととみられる。

そもそもムヒディン首相は正当な選挙を通じて首相に就任したわけではなかった。就任までの経緯を簡潔に整理すると、18 年の総選挙で勝利したマハティール氏 (PPBM) は政治に復帰したものの、当時から 90 歳を超える高齢であり、後継者の問題が懸念されてきた。マハティール氏は当初、連立与党をなすアンワル氏 (人民正義党、PKR) へ政権禅譲を行うものとみられたが、アンワル氏と対立関係にあった議員が野党を巻き込んだ新たな連立構想を仕掛けた。こうして連立与党の内紛は与野党を跨ぐ騒動に発展した。すると、マハティール氏は突如として辞任を表明し、首相の地位が空位となった。首相の座を巡る多数派工作が行き交う中、その裏で同氏は統一内閣という構想を掲げ、与野党の支持を得て政権を維持することを狙った。だがその間、ムヒディン氏は自身の所属する PPBM の大部分と与野党の脱党組と合わせて下院議席の過半数の支持を辛うじて確保し、新たな連立政権を作るに至った。国王の承認を経て 20 年 3 月、ムヒディン政権は発足した。

こうした背景から、ムヒディン首相の支持基盤は発足当初からせいぜい弱なものであった。また、就任直後に新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したためムヒディン政権は独自の色を出す前にパンデミックの抑制に奔走することとなった。感染対策として複数回にわたる財政政策の実施や非常事態宣言を発令し活動制限措置を敷くも、十分な効果は得られず、20 年の成長率は前年比▲5.6%とアジア通貨危機以来で最悪を記録していた(図表 1)。

また、今年に入ってデルタ株の感染拡大により国内の感染状況は悪化している(図表 2)。感染抑制の失敗のほか、コロナ禍での財政出動に際し、非常事態宣言下において議会を閉鎖していたことを名目に、国会審議なしに歳出権限の拡大などを決定していたことも政権への不信感を高めた。こうした中、7 月には与党連合の一角の UMNO が政権離脱を発表しており、早期の解散総選挙の実施の可能性を指摘する声も浮上した。ムヒディン首相もこれ以上打つ手がなくなったとして辞任の判断に至ったものと考えられる。

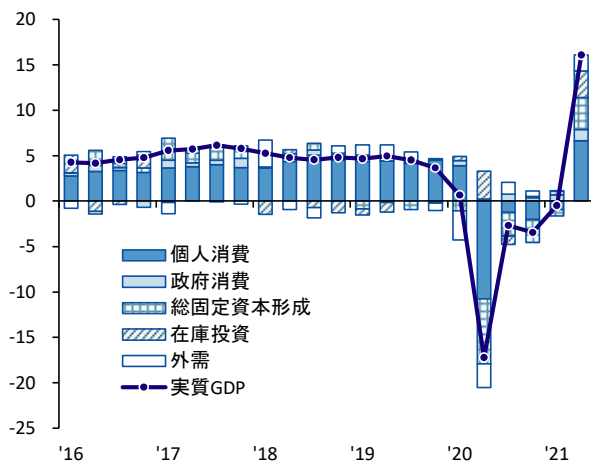
今回の発表を受けて、マレーシア国債の格下げに伴う金融市場の混乱が懸念される。デルタ株の感染拡大によって景気回復は遅れており、マレーシア中央銀行は 13 日、21 年の成長率予想を従来の前年比+6.5～7.0%から同+3.0～4.0%へ下方修正した。このほか、対 GDP 比で例年▲3.0%台で推移していた財政赤字の水準がコロナ禍における支出の拡大によって 20 年に次いで同▲6.0%で推移する見通しである点もマイナス材料である。足許で利回り水準はやや落ち着きがみられているものの引き続き注視が必要だろう(図表 3)。

為替相場に関しては、デルタ株の感染拡大と相まって年初来安値を更新する展開となっている(図表 4)。今回の動きは為替相場見通しにおいて下落リスクと想定してき

たものであり、政治面における先行き不安が増幅した場合においては 4.50 付近まで下落することまで想定しておきたい。

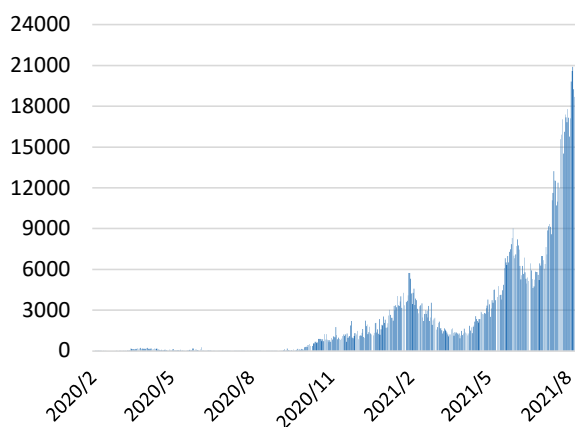
今回の辞任によって、UMNO 所属のイスマイル・サブリ・ヤアコブ副首相らが後任の候補として挙げられている。後任が決まるまではデルタ株対策などの政策は現政権のものを踏襲すると思われるが、現時点で下院の過半数の支持を得ている議員はいないとみられている。アブドラ国王が 20 日に各州の州王を集めた会議を開くと発表したが、依然不確定な点も大きい。本件につき続報を待つこととしたい。

図表 1: 実質 GDP 成長率(需要別、前年比%、%pt)



出所: マレーシア統計局、CEIC、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 新型コロナウイルスの新規感染者数推移(日次、人)



出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 3: マレーシア 10 年国債利回りの推移(%)



出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 4: MYR 相場の動向(対ドル)



出所: Bloomberg、みずほ銀行

市場概観(フィリピン)

8 月金融政策会合～引き続き経済の低迷に警戒を示す

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

フィリピン中央銀行(BSP)は12日に開催した金融政策会合で、政策金利の翌日物リバースレポレートを通去最低の2.00%に据え置いた(図表1)。政策金利は6会合連続で据え置きとなった。同時に上限金利の翌日物貸出ファシリティ(OLF)レートおよび下限金利の翌日物預金ファシリティ(ODF)レートもそれぞれ2.50%と1.50%とした。なお、ブルームバーグの事前予想では19人のエコノミスト全員が現状維持を予想していた。

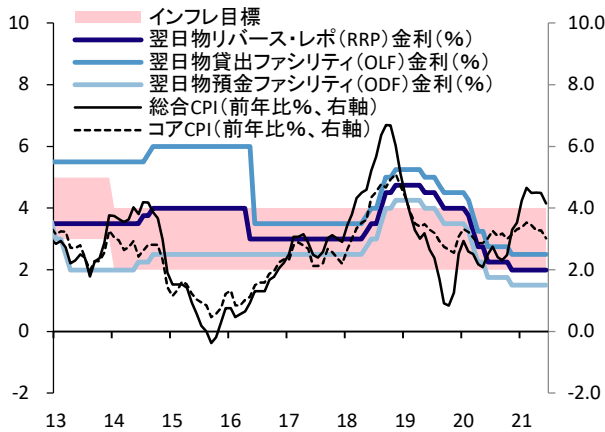
今回の政策決定についてジョグノ BSP 総裁は会見で、前回会合に続いて新型コロナウイルスの感染抑止のための隔離措置の再導入が景気の下振れリスクに繋がる点を説明した。会合前の10日には4～6月期のGDP成長率が公表され、前年比+11.8%となった(図表2)。市場予想を上回る結果となったものの、前期比では▲1.3%とマイナスに転じており、デルタ株拡大の影響が垣間見える内容となった。個人消費が回復基調であることなど前向きな内容も見られたが、政府が感染対策を強化している点を踏まえると、回復ペースは依然緩慢となることが予想され、年間目標である+6.0～+7.0%への到達は難しい状況となっている。

物価動向に関しては、前回会合に続いて見通しが引き上げられた。従前の前年比+4.0%から+0.1ポイント引き上げて同+4.1%とし、BSPが掲げる年間目標の+2.0%～+4.0%を僅かに上振れる予想となっている。原油をはじめとする商品価格が引き続き堅調である点に加えて、足許のPHP安が材料視された格好となっている。とは言え、ピーク時の2月からは上昇に歯止めがかかりつつあり(図表1)、ジョグノ総裁の会見でも物価の上振れよりも経済の低迷が課題となっている点が強調された。

こうした中、継続的な財政支援とワクチン接種の加速が重要であるとしながらも、BSPは引き続き緩和的な金融政策を維持し、景気の下支えをしていくとの方針を示した。会合前には預金準備率の引き下げといった緩和策の実施が予想されていたが見送られており、今後の景気の動向次第では追加利下げの可能性を残す内容となった。

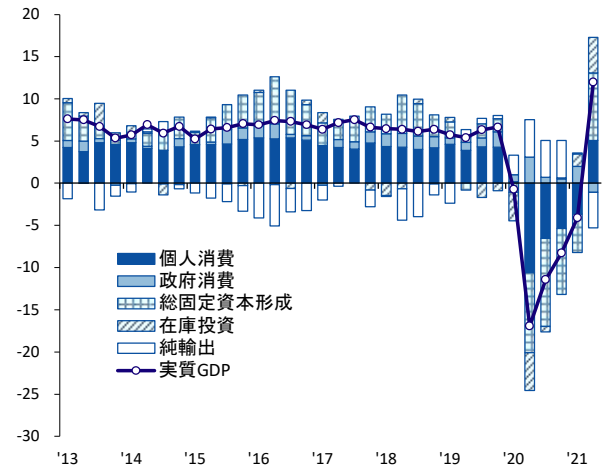
PHPは対ドルで8月に年初来安値を更新する展開となっている(図表3)。従前より懸念材料であったコロナ禍における景気の減速とASEAN域内でのデルタ株の感染拡大がPHPの下落要因となっている。また、ASEAN域内でのワクチン接種のスピードに差が出てきており、フィリピンはやや遅れが出ている状況である(図表4)。接種の遅れが活動制限措置の緩和を後ろ倒しにしているのは想像に難くない。片や、米国やユーロ圏をはじめワクチン接種の進展が早かった地域では、4～6月期のGDP成長率が着実に改善に向かっている。この点や域内でのデルタ株の感染拡大状況を踏まえれば、ワクチン接種の進捗はASEAN通貨動向を見る上で引き続き重要な相場要因となると考えたい。

図表 1: 消費者物価とインフレ目標(%)



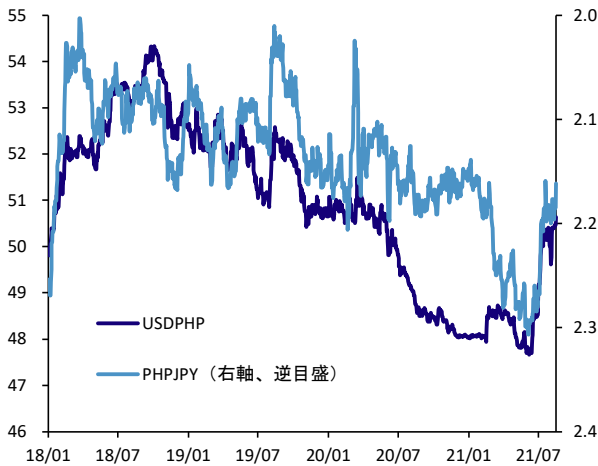
出所: フィリピン中央銀行、フィリピン国家統計局、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率(需要項目別、前年比%、%pt)



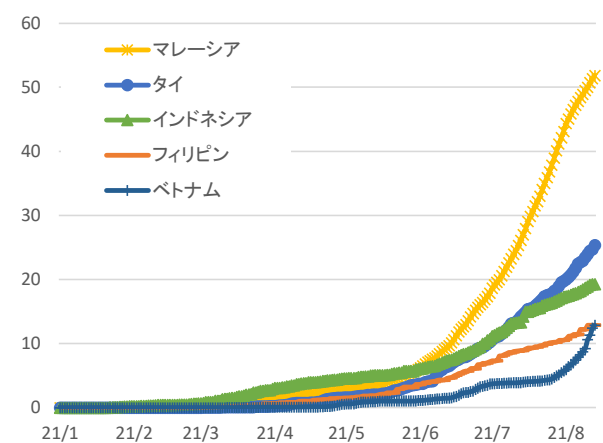
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: PHP 為替動向(対ドル、対円)



出所: Macrobond、みずほ銀行

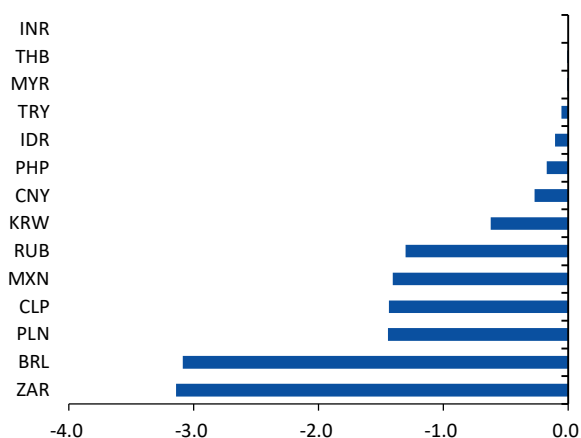
図表 4: 100 人当たりのワクチン接種人数(人)



出所: Our World in Data よりみずほ銀行作成
※1回以上接種を受けた割合

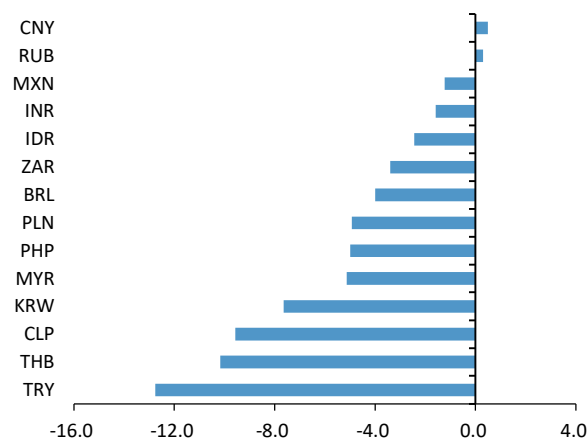
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



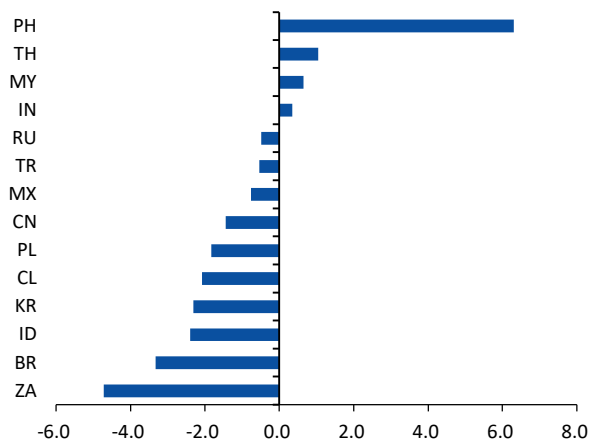
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



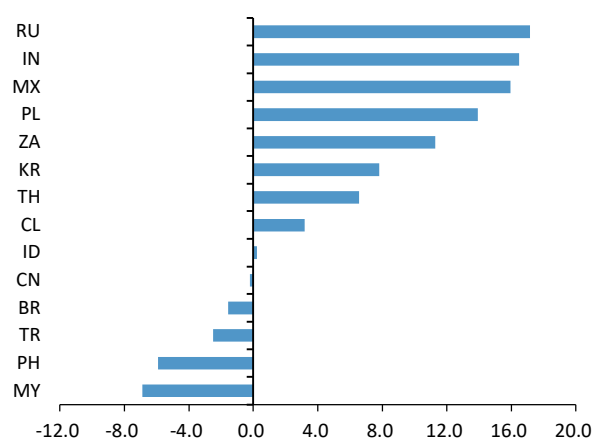
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



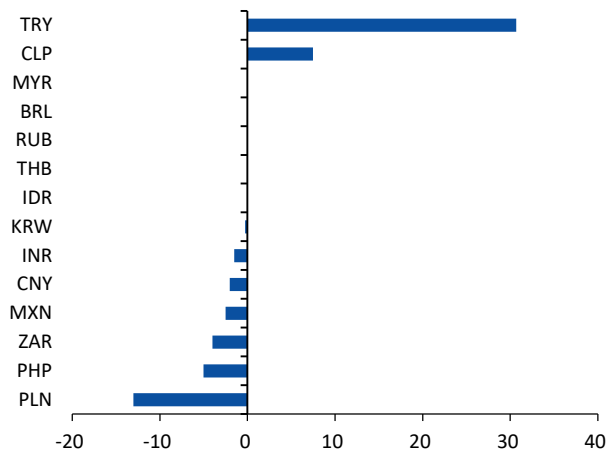
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

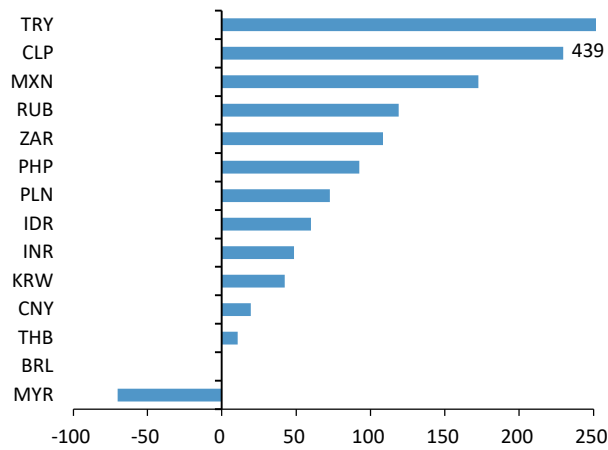
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

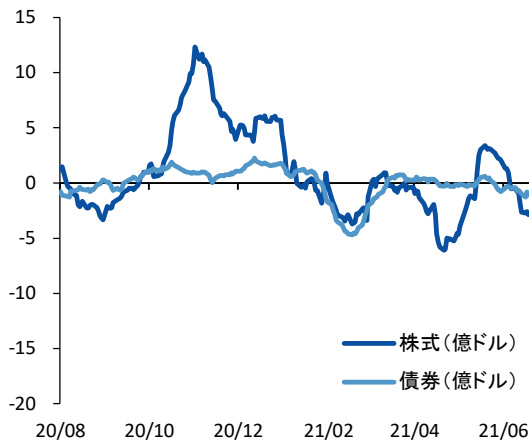


注: データの都合によりブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

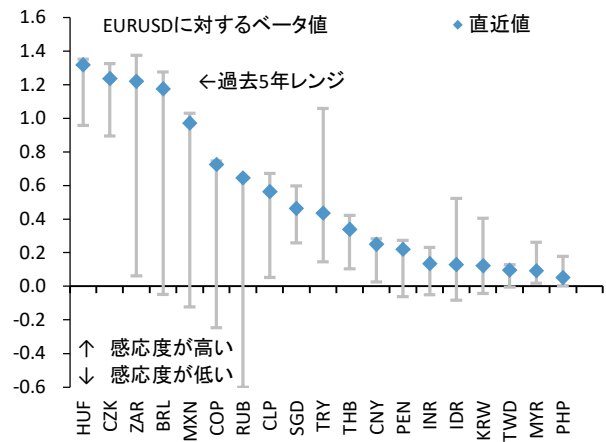
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



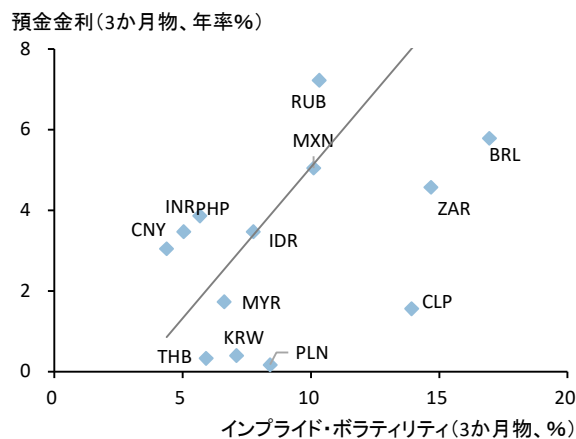
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



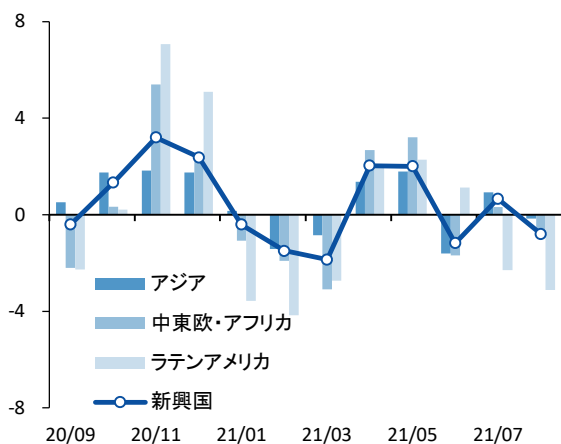
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



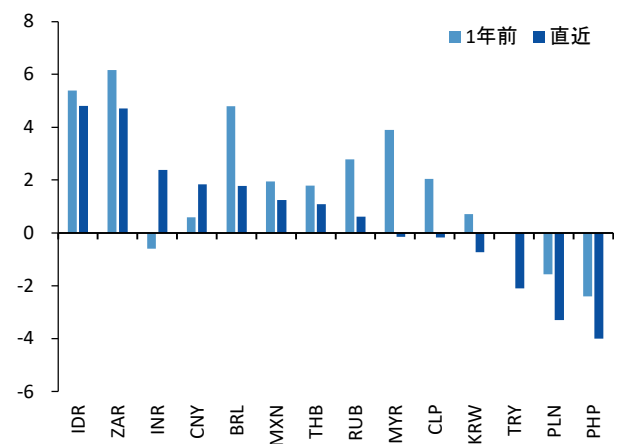
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
8月16日 (月)	中国	小売売上高(前年比)	10.9%	8.5%	12.1%	--
16日 (月)	中国	鉱工業生産(前年比)	7.9%	6.4%	8.3%	--
16日 (月)	中国	固定資産投資(除農村部/年初来/前年比)	11.3%	10.3%	12.6%	--
16日 (月)	タイ	GDP(前年比)	6.6%	7.5%	-2.6%	--
16日 (月)	フィリピン	Overseas Cash Remittances YoY	2.4%	7.0%	13.1%	--
16日 (月)	インド	卸売物価(前年比)	11.3%	11.2%	12.1%	--
17日 (火)	シンガポール	非石油地場輸出(前年比)	12.0%	12.7%	15.9%	--
18日 (水)	インドネシア	貿易収支	\$2315m	\$2589m	\$1316m	--
19日 (木)	インドネシア	インドネシア銀行7日物リハースレホ	3.50%	3.50%	3.50%	--
20日 (金)	韓国	PPI 前年比	--	--	6.4%	--
20日 (金)	台湾	輸出受注(前年比)	21.2%	--	31.1%	--
20-27日	フィリピン	総合国際収支	--	--	-\$312m	--
23日 (月)	シンガポール	CPI(前年比)	--	--	2.4%	--
23日 (月)	台湾	鉱工業生産(前年比)	--	--	18.4%	--
23日 (月)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	--	-149.9b	--
24日 (火)	韓国	消費者信頼感	--	--	103.2	--
24日 (火)	タイ	貿易収支(通関ベース)	--	--	\$945m	--
25日 (水)	韓国	景況判断(製造業)	--	--	92	--
25日 (水)	マレーシア	CPI(前年比)	--	--	3.4%	--
26日 (木)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	--	--	27.5%	--
26日 (木)	韓国	韓国銀行7日間レボレート	--	--	0.50%	--
27日 (金)	マレーシア	輸出(前年比)	--	--	27.2%	--
中東欧・アフリカ						
8月18日 (水)	南ア	CPI(前年比)	4.7%	4.6%	4.9%	--
18日 (水)	南ア	小売売上高(前月比)	-0.5%	0.6%	2.1%	--
19日 (木)	ロシア	PPI 前年比	27.8%	28.1%	31.1%	--
23日 (月)	トルコ	外国人観光客(前年比)	--	--	853.4%	--
24日 (火)	南ア	南アフリカ失業率	--	--	32.6%	--
25日 (水)	トルコ	設備稼働率	--	--	76.7%	--
25日 (水)	トルコ	実体経済信頼感指数(季調前)	--	--	114.8	--
26日 (木)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	8.0%	--	10.4%	--
26日 (木)	南ア	PPI 前年比	--	--	7.7%	--
ラテンアメリカ						
8月20-26日	ブラジル	税収	154800m	--	137169m	--
23日 (月)	メキシコ	小売売上高(前年比)	--	--	29.7%	--
25日 (水)	メキシコ	GDP(季調前/前年比)	--	--	19.7%	--
25日 (水)	メキシコ	経済活動IGAE(前年比)	--	--	25.1%	--
25日 (水)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	--	--	0.7%	--
25日 (水)	ブラジル	経常収支	--	--	\$2791m	--
25日 (水)	ブラジル	海外直接投資	--	--	\$174m	\$175m
27日 (金)	メキシコ	貿易収支	--	--	762.0m	--
27日 (金)	ブラジル	融資残高	--	--	4214b	--

注: 2021 年 8 月 20 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2021年 1～7月(実績)	SPOT	2021年 9月	12月	2022年 3月	6月	9月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元 (CNY)		6.3570 ~ 6.5793	6.4949	6.55	6.50	6.45	6.40	6.40
香港ドル (HKD)		7.7510 ~ 7.7864	7.7897	7.77	7.78	7.79	7.80	7.80
インドルピー (INR)		72.269 ~ 75.651	74.248	75.4	74.4	75.2	77.3	75.6
インドネシアルピア (IDR)		13865 ~ 14628	14403	14650	14380	14850	15100	14680
韓国ウォン (KRW)		1080.08 ~ 1157.40	1176.25	1160	1160	1170	1180	1190
マレーシアリングギ (MYR)		3.9957 ~ 4.2440	4.2378	4.32	4.18	4.22	4.38	4.22
フィリピンペソ (PHP)		47.615 ~ 50.920	50.555	51.6	50.4	50.5	52.4	50.8
シンガポールドル (SGD)		1.3157 ~ 1.3693	1.3649	1.37	1.34	1.36	1.37	1.33
台湾ドル (TWD)		27.483 ~ 28.663	27.965	27.8	27.8	28.0	28.3	28.5
タイバーツ (THB)		29.84 ~ 32.99	33.34	33.6	32.8	33.2	33.4	32.5
ベトナムドン (VND)		22944 ~ 23164	22814	23090	22930	23060	23250	23080
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル (RUB)		71.5530 ~ 78.0400	74.1936	75.00	76.00	76.00	78.00	80.00
南アフリカランド (ZAR)		13.4122 ~ 15.6625	15.2264	15.00	15.50	16.00	16.30	16.50
トルコリラ (TRY)		6.8974 ~ 8.8008	8.5286	8.80	9.00	9.20	9.70	10.20
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル (BRL)		4.8942 ~ 5.8789	5.4149	5.00	4.85	4.85	5.00	5.30
メキシコペソ (MXN)		19.5494 ~ 21.6357	20.1740	19.80	19.30	19.30	19.40	19.50
対円								
エマージングアジア								
中国人民元 (CNY)		15.731 ~ 17.286	16.895	16.95	17.38	17.67	17.97	18.13
香港ドル (HKD)		13.233 ~ 14.380	14.092	14.29	14.52	14.63	14.74	14.87
インドルピー (INR)		1.402 ~ 1.521	1.478	1.47	1.52	1.52	1.49	1.53
インドネシアルピア (100IDR)		0.732 ~ 0.778	0.762	0.758	0.786	0.768	0.762	0.790
韓国ウォン (100KRW)		9.308 ~ 9.910	9.332	9.57	9.74	9.74	9.75	9.75
マレーシアリングギ (MYR)		25.548 ~ 26.906	25.845	25.69	27.03	27.01	26.26	27.49
フィリピンペソ (PHP)		2.136 ~ 2.310	2.171	2.15	2.24	2.26	2.19	2.28
シンガポールドル (SGD)		77.79 ~ 83.15	80.42	81.02	84.33	83.82	83.94	87.22
台湾ドル (TWD)		3.655 ~ 4.002	3.920	3.99	4.06	4.07	4.06	4.07
タイバーツ (THB)		3.321 ~ 3.561	3.290	3.30	3.45	3.43	3.44	3.57
ベトナムドン (10000VND)		0.4446 ~ 0.4854	0.4811	0.48	0.49	0.49	0.49	0.50
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル (RUB)		1.364 ~ 1.538	1.478	1.48	1.49	1.50	1.47	1.45
南アフリカランド (ZAR)		6.657 ~ 8.181	7.210	7.40	7.29	7.13	7.06	7.03
トルコリラ (TRY)		12.436 ~ 15.265	12.862	12.61	12.56	12.39	11.86	11.37
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル (BRL)		18.478 ~ 22.632	20.270	22.20	23.30	23.51	23.00	21.89
メキシコペソ (MXN)		5.018 ~ 5.624	5.441	5.61	5.85	5.91	5.93	5.95

注: 1. 実績の欄は2021年7月31日まで。SPOTは8月20日の8時10分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。